

文学的モダニズムの接触領域

— 上海・ソウル・東京 —

2019年5月25日(土) 10:30 (10:00開場) —17:00

一橋大学東キャンパス 第3研究館 3F 研究会議室

part 1 10:30—12:00

◆ 主催者挨拶 ◆

イ・ヨンスク (一橋大学・言語社会研究科教授・韓国学研究センター長)

◆ 基調講演 ◆

坂井洋史 (一橋大学・言語社会研究科教授)

邂逅と発見、あるいは「方法としての西洋」

◆ 歌曲演奏 ◆

松平幸 (ソプラノ) 近藤光雄 (ギター)

(A.ウェイリーの訳詞による) ブリテン「中国の歌」作品58 (1957) から

part 2 13:00—17:00

◆ panel A 「批評」中韓の文学批評言説における東西の〈接触〉

段 懐清 Duan Huaqing (復旦大学・中国語文学系教授)

“不用典”——胡適與“學衡派”的糾纏 (「典故を用いず」——胡適と「学衡派」の葛藤)

金 東植 Kim Dongshik (仁荷大学校・韓国語文学科教授)

비평과 주체성 - 주지주의 문학론과 최재서 (批評と主体性 - 主知主義文学論と崔載瑞)

◆ panel B 「創作」中韓の文学創作過程における東西の〈接触〉

張 新穎 Zhang Xinying (復旦大学・中国語文学系教授)

T.S.艾略特與幾代中國人 (T.S.エリオットと数世代の中国人)

張 紋碩 Jang Moonseok (慶熙大学校・国語国文学科助教授)

‘읽다’ 와 ‘쓰다’ — 독일문학과 김시량 (「読む」と「書く」—ドイツ文学と金史良)

総合司会 三原芳秋 (一橋大学・言語社会研究科教授)

通訳の準備があります 参加ご自由/事前登録等不要
JR 中央線国立駅南口下車徒歩7分

お問い合わせ 一橋大学言語社会研究科韓国学研究センター hitokanken@gmail.com
三原芳秋 yoshi.mihara@r.hit-u.ac.jp 坂井洋史 SAKAI.banjing@r.hit-u.ac.jp



文学的モダニズムとは、世界性 (global) と地域性 (local) の絡み合いから生じた運動です。それは、西洋から東洋への「影響」といった一方向的なものではなく、むしろそれらの〈あいだ〉＝「接触領域」において生じた、予測不能でさまざまな可能性に開かれた運動でした。今回のシンポジウムでは、そのような「接触領域」として上海・ソウル・東京の三都市を設定し、100年後の現在それぞれの都市で研究に従事する文学研究者たちが一堂に会することで、この場所をまたひとつの「接触領域」として、その運動に潜在していた可能性の襞をひとつひとつ共に解きほぐしてみたいと思います。くわえて当日は、英国の碩学アーサー・ウェイリーが英訳し、ベンジャミン・ブリテンが曲をつけた「中国の歌」の演奏も披露されます。これもまた東西「接触」の麗しき果実であるとともに、一橋大学言語社会研究科韓国学研究センターの良き伝統に則るものでもあります。

パネラー紹介 (報告順)



段 懐清 Duan Huaiqing (1966—)

復旦大学 中国語文学系教授

専攻分野：中国近代文学、中外比較文学、中外文学交流史

主 著：『白璧德與中国文化』(首都師範大学出版社、2006年11月)

『〈中国評論〉與晚清中英文学交流』(広東人民出版社、2006年7月)

『伝教士與晚清口岸文人』(広東人民出版社、2007年8月)

『王韜與近現代文学轉型』(復旦大学出版社、2015年7月)

『蒼茫誰尽東西界—論東西方文学與文化』(浙江大学出版社、2012年4月)



金 東植 Kim Dongshik (1967—)

仁荷大学校 韓国語文学科教授

専攻分野：文芸批評 (季刊『文学と社会』元編集同人)、韓国近代文芸批評史

主 著：『冷笑と魅惑』(文学と知性社、2002年)、『記憶と痕跡』(文学と知性社、2012年)、『小説についての小さい物語』(文学ドンネ、2003年)、『取る(雑多)』(イマゴ、2003年)

主要論文：「韓国の近代的文学概念形成過程の研究」(ソウル大学博士論文、1999年)、「韓国文学概念規定の歴史的変遷について」(2010年)、「鉄道と近代性」(2002年)、「リアリズムの勝利とテキストの無意識」(2008年)など。



張 新穎 Zhang Xinying (1967—)

復旦大学 中国語文学系教授

専攻分野：中国近代文学、文芸批評、中国近代詩

主 著：『沈從文的前半生 1902-1948 (増訂版)』(上海三聯書店、2018年2月)

『沈從文の後半生 1948-1988 (増訂版)』(上海三聯書店、2018年2月)

『打開我們的文学理解』(山東文芸出版社、2005年12月)

『有情』(上海書店、2012年5月)

『20世纪上半期中国文学的現代意識(修訂版)』(2009年1月)



張 紋碩 Jang Moonseok (1984—)

慶熙大学校 国語国文学科助教授

専攻分野：韓国近代文芸批評史、出版文化史

主要論文：「崔仁勲文学と「アジア」という思想」(ソウル大学博士論文、2018年)、「林和の参考文献」(2009年)、「ダンディーと両班—黎泉李源朝研究(1)」(2013年)、「出版企画者の崔載瑞と「人文社」の誕生」(2015年)、「傷痕と克服—1970年の金允植の渡日と批評」(2015年)、「金台俊と延安行」(2016年)など。